

2018年度英米文学英語学専修 卒業論文題目一覧

- 文 15-0022 有 堀 沙 織 Immigrants' Attitudes Toward Heritage Language Maintenance in Canada
- 文 15-0026 池 井 幸 A Comparison of Interpersonal Communication in America and Japan: Perceptions of Hospitality
- 文 15-0027 池 内 直 貴 Demotivation and Motivational Strategies in Language Learning: A Study of Japanese University Students of English
- 文 15-0059 乾 恵里花 原作『紅はこべ』と宝塚劇『スカーレット・ピンパーネル』の比較
- 文 15-0065 井 上 真梨恵 会議における意見の対立の日米比較
- 文 15-0070 今 田 久留美 *The Shawshank Redemption* における影響し合う二人の主人公—共有、居場所—
- 文 15-0084 植 村 真 帆 感情のメタファーとメトニミー—体温上昇と心拍数上昇の観点から考える—
- 文 15-0086 前 谷 智 草 *Mystic River* における逃れられない運命性—共有する事件、反復するモチーフ、カメラアングル—
- 文 15-0092 内 山 深 雪 『ねじの回転』の作品構造と幽霊に関する考察
- 文 15-0103 榎 本 麻 里 The Motivation for Children to Study English as a Second Language: An Interview Study with Japanese Learners
- 文 15-0116 太 田 蓮 Changing Attitudes Towards LGBTQ+ in Japan and America
- 文 15-0118 大 西 綾 子 ジェームズ・サーバー短編論
- 文 15-0120 大 西 元 子 映画の字幕翻訳における分析と考察—戸田奈津子と松浦美奈の翻訳を比較して—
- 文 15-0123 大八木 天 希 *RAIN MAN* における人間性回復
- 文 15-0133 尾 形 咲 季 ペットは擬人化できるのか—英語における動物の人間の用法—
- 文 15-0162 神 下 真 依 映画 *LEON* におけるレオンとマチルダの変化する愛の描写
- 文 15-0164 唐 津 結 衣 *Moonlight* にみる masculinity と identity の相克
- 文 15-0170 河 内 瑠 奈 英語における女性のメタファー—<女性はデザート>及び<女性はフルーツ>について—
- 文 15-0180 川 口 諒 悟 『老人と海』の二面性からみる倫理的問題へのアプローチ
- 文 15-0189 川 本 瑞 希 慣用語の日英語比較研究—「腕」と *arm* からの考察—
- 文 15-0190 貫 野 栞 人工知能の未来—シンギュラリティによる影響—
- 文 15-0196 岸 場 成 美 記号によるブランディング—ブランドは虚偽であるか—
- 文 15-0219 窪 田 佳 歩 *sweet* の多義における意味の記述方法—多義構造の分析をもとに—
- 文 15-0221 熊 倉 美 咲 Comparing Ways of Making Apologies Between Japanese and English
- 文 15-0244 小 林 優 希 『スタンド・バイ・ミー』にみる通過儀礼
- 文 15-0261 斎 藤 愛 莉 『赤毛のアン』—アンと周囲の人々の成長
- 文 15-0270 坂 田 花 実 English Education in Japanese Elementary School: Toward Cooperation between Elementary and Junior High School

- 文 15-0275 阪 本 悠 泰 近年における「お笑い」—なぜ、たとえツッコミが笑えるのか その役割を考察—
- 文 15-0276 崎 中 楓 Oral Corrective Feedback in SLA: A Survey of University Student Preferences
- 文 15-0287 佐 藤 那 美 児童文学『WONDER』における翻訳比較
- 文 15-0288 佐 藤 万 緒 ヘミングウェイ短編作品分析—「殺し屋」・「白い象のような山並み」におけるヘミングウェイ短編作品の特徴—
- 文 15-0291 佐 野 詩 音 マルチモーダルなメタファー—広告における視覚メタファーの解釈—
- 文 15-0292 佐 野 里 菜 Williams の一方向性の仮説は本当に正しいか—楠見(1988)との比較—
- 文 15-0308 下 田 莉 緒 動画のオノマトペ日英比較研究—幼児の教育ビデオを対象に—
- 文 15-0321 杉 本 萌 絵 George Gordon Byron 研究—恋と女性美の表現について
- 文 15-0343 高 橋 絵梨花 A Study of Linguistic Discrimination Against Cockney English in the U.K.
- 文 15-0345 高 橋 望 How do differences of thought impact discipline?
- 文 15-0359 竹 中 望 『扉をたたく人』における主人公ウォルターの再生物語——ピアノからジャンベへ——
- 文 15-0360 武 間 真 人 『グレート・ギャツビー』における資本主義
- 文 15-0376 田 中 沙 奈 *The Chrysanthemum and The Sword* の和訳における相違
- 文 15-0393 玉 置 真 也 『ライ麦畑で捕まえて』について
- 文 15-0409 辻 千 夏 英語のオノマトペ—オノマトペの形態と音に注目して—
- 文 15-0414 辻 本 雅 Intelligibility of French Canadian English to Japanese People
- 文 15-0436 東 条 瑠 依 Emotional Expressions in Japanese and English
- 文 15-0446 堂 土 智佳子 『ドリアン・グレイの肖像』について—ドリアン・グレイの人物分析による考察—
- 文 15-0451 中 岡 法 子 言葉遊びと論理学から見る『不思議の国のアリス』——原作と映像の比較——
- 文 15-0455 中川原 優 里 *City of Glass* について—クインの結末にせまる—
- 文 15-0470 中 村 萌 子 『ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団』—和訳の比較と分析—
- 文 15-0482 名 倉 愛 菜 Comparing Japanese and English Attitudes Toward Silence in Communication
- 文 15-0488 ニ 澤 奈 々 ブローカ野の構造と機能
- 文 15-0496 西 田 美 乃 Bilinguals and Emotions
- 文 15-0514 裏 部 伊 織 *Do Androids Dream of Electric Sheep?*における造語・台詞訳の翻訳比較
- 文 15-0517 信 政 玲 奈 『フランケンシュタイン』論—博士と怪物の「語り」分析を中心に—
- 文 15-0524 狭 間 雛 乃 オー・ヘンリー短編小説試論—「意外な結末」を中心に—
- 文 15-0526 橋 長 愛 ヴィクトリア朝の詩から読み取る「お姫様」像
- 文 15-0529 橋 本 茉 侑 Attitudes Towards and Intelligibility of New Zealand English
- 文 15-0540 花 房 真 帆 音象徴は本当に普遍的であるのか

- 文 15-0553 日 浦 逸 貴 Relation Between Singapore English and Attitudes Toward Using It in Singapore
- 文 15-0555 東 田 千 珠 『フランケンシュタイン論』——原作と映画二作品の比較——
- 文 15-0564 廣 川 沙耶香 A Study of the Relation between Parental Speech Patterns and Second Language Acquisition
- 文 15-0568 深 谷 祐太郎 映画 *Forrest Gump* における波乱のアメリカ現代史を生きる者たちの再出発
- 文 15-0577 富 士 綺 香 Comparing Indirect Speech in Japanese and English
- 文 15-0586 藤 木 美 優 マンスフィールド 短編作品分析——エピファニーを中心に——
- 文 15-0589 藤 野 港 Transitions in Japanese English Education: Toward Active Learning
- 文 15-0604 古 川 亜 由 *To Kill a Mockingbird* について—the symbols of the mockingbird—
- 文 15-0607 堀 田 侑 希 Comparison of Requests in Japanese and English
- 文 15-0616 前 田 聖 月 TENSION のメタファー—MPA を用いた概念メタファーの分析—
- 文 15-0617 牧 野 友 香 様々な人生を通じて描かれるベンジャミンの人生——「ベンジャミン・バトン 数奇な人生」における生と死——
- 文 15-0628 松 井 秀 一 *The Lion, the Witch and the Wardrobe* における児童文学の分析と翻訳比較
- 文 15-0632 松 尾 真 菜 マンスフィールド短編小説論——階級問題を中心に——
- 文 15-0664 宮 崎 航 平 物語 CM—日米の携帯 CM 比較—
- 文 15-0684 森 千 晶 *Scarecrow* における変化を表す四つのモチーフと逆方向に向かう二人の旅
- 文 15-0690 森 賀 愛 *The Sound of Music* における登場人物の変化—内と外の観点から—
- 文 15-0693 森 田 博 菜 Differences in the Communication Styles of Men and Women in Japanese and English
- 文 15-0696 森 野 佳 奈 『ピーター・パンとウエンディ』からひも解く翻訳の変遷—1989 年から 2015 年にかけて—
- 文 15-0708 安 川 優 香 オスカー・ワイルドの色彩と光・影における印象派との共通点
- 文 15-0714 八 橋 瑠 奈 ヘミングウェイ短編試論—「雨の中のねこ」と「白い象のような山並み」に関する分析—
- 文 15-0719 山 岡 昇太郎 How to Create Effective Classes (Classes Created by Instructional Design)
- 文 15-0721 山 川 耕 平 『トゥルーマン・ショー』に見る管理社会—虚構世界での通過儀礼—
- 文 15-0768 吉 田 絢 音 O・ヘンリー短編論
- 文 15-0772 吉 藤 卓 也 デイヴィッド・エバーショフの *The Danish Girl*—和訳の比較と分析—
- 文 15-0782 若 本 莉 奈 Motivation and Demotivation in the L2 Classroom
- 文 15-0785 渡 邊 彩 乃 A Study of Returnees' Identity
- 文 15-0790 和 田 奈 月 Communication between Vietnamese and Japanese in the Workplace: An Interview Study with Vietnamese in Japan
- 文 15-0795 胡 裴 寧 Comparison and Analysis of Original English Novel and Japanese

Translation: *The Help* by Kathryn Stockett

- 文 15-3004 須賀光太 A Study of Change in People's Impressions Based on Vocalization Characteristics
- 文 17-3001 仲田みなみ Giving Negative Feedback in Business Situations: Comparing Americans and Japanese
- 文 14-0220 神崎珠理 『八月の光』—クリスマスの葛藤—
- 文 14-0407 田中昌志 レイモンド・カーヴァーの“Are you a Doctor?”—和訳の比較と分析—
- 文 14-0743 中澤祐子 Filipino Attitudes toward Filipino English
- 文 11-0389 武内大尚 *The Bridges of Madison County* におけるフランチェスカの心情変化
- 文 10-0565 西山峻矢 ジョン・ダンの「愛」について

## 2017年度 英米文学英語学会会計報告

(2017年4月1日～2018年3月31日)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	2,060,647 円	「英米文学英語學論集」第6号印刷代	155,520 円
特別会費	70,000 円	郵送料	420 円
学生会費	179,000 円	会議費	12,349 円
第6回学会懇親会費	24,000 円	雑費（振込料など）	512 円
利息	12 円	次期繰越金	2,164,858 円
合 計	2,333,659 円		2,333,659 円

2017年度英米文学英語学会会計報告について監査を行った結果、適正なものであることが認められますのでその旨証明いたします。

### 執 筆 者 紹 介

高 橋 美 帆 (本学教授)

Irina Novoselova (本学大学院 前期課程)

### 査読編集委員会

- Fred E. Anderson (本学教授)
- 谷 口 義 朗 (本学教授)
- 干 井 洋 一 (本学教授)
- \*\*岩 田 彩 志 (本学教授)
- Richard Donovan (本学准教授)

\* 編集代表    \*\* 編集副代表    ● 査読委員

## 学 会 開 催 報 告

関西大学英米文学英語学会・関西大学英語学会・関西大学大学院英語英米文学研究会 共催研究大会が2018年10月27日(土)13時より関西大学第1学舎5号館 E601・602にて行われました。詳細は以下のとおりです。

[卒論構想発表会]

E601

胡 斐寧 (Donovan ゼミ) “Translating Kathryn Stockett’s Novel *The Help* into Japanese”

司会 Richard Donovan

太田 連(野口ゼミ)「LGBTQについて 日本とアメリカにおける態度の変動」

司会 野口メアリー

河内 瑠奈(鍋島ゼミ)「英語における女性のメタファー——<女性はスイーツについて>」

司会 鍋島弘治朗

藤野 港 (Anderson ゼミ) “Transitions in Japan’s English education: Toward active learning”

司会 Fred E. Anderson

E602

乾 恵里花(干井ゼミ)「原作『紅はこべ』と宝塚劇『スカーレット・ピンパーネル』の比較」

司会 干井洋一

唐津 結衣(秋元ゼミ)「映画『ムーンライト』において色が象徴するもの」

司会 秋元秀紀

橋長 舞(高橋ゼミ)「ヴィクトリア朝「プリンセス」詩について」

司会 谷口義朗

神崎 珠理(谷口ゼミ)「『八月の光』について」

司会 谷口義朗

[研究発表]

E601 英語学

ノヴァショラヴァ・イリーナ (M1) “Translating Japanese supernatural and specific cultural elements into English in “Spirited Away””

司会 野口メアリー

エルチュルク・ダムラ (M2) 「LIGHT IS MOVING OBJECT か LIGHT IS MOVING FLUID か—光のメタファーのコーパス分析」

司会 鍋島弘治朗

掛 真太郎 (M2) 「再帰中間構文について」

司会 岩田彩志

E602 英米文学

鄭 燕妮 (M1) 「フェミニズム批評による『人間の絆』の分析」

司会 干井洋一

岩橋 恵子 (D3) 「短編にみるカズオ・イシグロの姿」

司会 干井洋一

[講演] 「詩と木蔭——ナラ、ブナ、プラタナス」

講師 水野 眞理<sup>1</sup>

司会 谷口 義朗

---

<sup>1</sup>京都大学大学院 人間・環境学研究所 教授

---

### 【編 集 後 記】

高橋美帆先生が在外研究先のイタリアから帰国され、さっそく論文を寄稿された。ほかに院生からの投稿論文が一本あった。査読にはアンダーソン先生、ドノバン先生にあたっていただきました。その他、各ゼミからの優秀卒論計8編を掲載しました。

## 『英米文学英語学論集』投稿規定

- 1 投稿資格  
本会の会員であること。その他、評議員会で適当と認められた者。
- 2 投稿論文及び翻訳  
投稿論文は、未発表の学術論文であること。口頭発表を基にした論文は、その旨を明記すること。論文の長さは、和文の場合四〇〇字詰め原稿用紙三五枚程度、英文の場合七〇〇語程度。なお、投稿原稿は返却しない。  
翻訳は本邦初訳であり、かつ著作権上の問題が発生せず、研究上の意義が認められるものに限る。
- 3 投稿の採否  
投稿原稿の採否は、査読編集委員会あるいは同委員会が委嘱する査読者の評価に基づいて、査読編集委員会が決定する。
- 4 書式上の注意
  - i 注は本文の末尾にまとめる。
  - ii 注のナンバ―は肩付き、数字はアラビア数字（かっこなどで枠付けしない）を用いる。
  - iii その他、書式の細部については次のいずれかの規定に従うこと。
    - ① *MLA Handbook for Writers of Research Papers* (Fifth Edition)
    - ② 『MLA英語論文の手引』(第5版) (北星堂)
    - ③ 日本英語学会機関誌 *English Linguistics* 投稿規定
    - ④ *The Chicago Manual of style* (Fifteenth Edition)
    - ⑤ *A Manual for Writers of Term Papers, Theses, and Dissertations*
    - ⑥ *APA (American Psychological Association) Style*
  - iv 日本語による論文には英文タイトルを付すこと。
- 5 原稿締め切り  
原稿の締め切りを原則として毎年12月末とし、翌年3月までに刊行するものとする。
- 6 電子化による公開  
投稿した論文等が本論集に掲載された場合、投稿者はその論文等が関西大学学術レポジトリに登録されることを許諾したものとす。ただし投稿者本人の事前の申し出により登録を辞退することができます。

## 関西大学英米文学英語学会会則

### 第一条

本会は関西大学英米文学英語学会と称しその事務局を関西大学文学部総合人文科英米文学英語学専修合同研究室に置く。

### 第二条

本会は英語学・英米文学の研究の促進と研究成果発表を目的とする。本会は第二条の目的を達成するために次の事業を行なう。

### 第三条

一、機関誌『英米文学英語学論集』の刊行。

### 第四条

二、その他、大会、総会、談話会、講演会など、本会が必要と認めたこと。本会は次の者をもって会員とする。

一、本学文学部総合人文科英米文学英語学専修の専任教員。

二、本学文学部総合人文科英米文学英語学専修及び同大学院文学研究科英米文学英語学専修の学生。

三、右の卒業生及び修了生であつて本会に入会を認められた者。

四、本学文学部英文学科(旧)の在職経験者中の入会希望者。

五、本学の名誉教授その他評議員が推薦した者で入会を希望する者。

### 第五条

本会に次の役員をおく。

一、会長 会長(一名)は評議員の互選によりこれを選出する。

二、副会長 副会長(一名)は会長が指名するものとする。

三、評議員 第四条第一項の会員が評議員の責務を負うものとする。

四、委員 委員若干名は評議委員会で決定する。委員は編集・会計・

会計監査及び広報を分担する。

役員の任期は二年とし、再任を妨げない。

会費は第四条第一項に該当する者は年会費一万円を納入する。第四条第二項に該当する者は千円を納入する。その他は年会費三千円を納入する。

会員は機関誌の配布を受けるとともに、これに執筆寄稿することができる。

### 第八条

この会則の変更は評議員の議決による。

### 第九条

(会則改正 二〇一八年二月十四日)